

## パレスチナ・ガザ緊急人道支援 現地調整員帰国によるメディア懇親会のお知らせ

10/9(木) 14:00～ NICCO 京都本部(京都市中京区)

NICCO パレスチナ事務所で、ガザ緊急人道支援の調整員として活動中の松村拓憲が一時帰国いたします。

停戦から1か月以上が経った今、ガザ地区の人々はどのような状況の中日々を過ごしているのか、また、日本で暮らす私たちに何ができるかなどお話ししながら情報をご提供させていただきます。是非お越しください。

現地の状況や支援の様子を撮影した写真を

ご用意いたしますので、お気軽にお問い合わせください。



破壊されたガザの町



食料配布の様子

### <NICCO のパレスチナ・ガザ緊急人道支援について>

NICCO はイスラエル軍とパレスチナ側武装勢力が無期限停戦に合意する以前の8月20日から、日本人スタッフが東エルサレムに入り、提携先の現地 NGO と業務調整を行いながら活動しました。

停戦から1か月以上が経った今も現地情勢はいまだ厳しく、日本人スタッフが直接ガザ地区に入ることができない状況が続いています。そのため現在はパレスチナ西岸地区にて、提携先現地 NGO と、配布内容・スケジュールの綿密な協議・調整を行い、**現地での食料、生活必需品の配布、医療機器の配布**にあたっています。



補聴器を受け取る子ども

### <配布実績(10月5日時点)>

- ・ハンユヌス市で 300 世帯に生活必需品を配布
- ・ラファ市にて 880 世帯に食料を配布
- ・77人へ補聴器を配布

### <食料を受け取った人の声>

「1週間分の食料を受け取り、非常に助かります。」

「家に全く食糧が無く、緊急で必要な時に支援を受ける事が出来ました。」

パレスチナ事務所 現地調整員 松村拓憲 メディア懇親会

<日時> 2014年10月9日(木)14:00 ~ (※約1時間半を予定しています)

<場所> 日本国際民間協力会(NICCO)京都本部にて

(〒604-8217 京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 TEL:075-241-0681)



### <現地調整員 松村拓憲 プロフィール>

立命館大学法学部(国際比較法専攻)卒業後、民間企業(伊藤忠丸紅鉄鋼株)で、5年間国内営業担当を務めた後、イギリス、サセックス大学大学院国際関係学部へ入学。卒業後、JICA(独立行政法人・国際協力機構)のインターンを経て、国連ボランティアとしてUNOPS(国連プロジェクトサービス機関)南スーダン事務所にて勤務。現在、公益社団法人日本国際民間協力会に所属し、ガザ人道支援事業の現地調整員を務める。

### <このリリースに関する お問い合わせ先 >

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

■京都本部 <<担当:大豊、福島>>

電話:075-241-0681 FAX:075-241-0682

〒604-8217 京都府京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地

E-mail: [info@kyoto-nicco.org](mailto:info@kyoto-nicco.org) URL: <http://www.kyoto-nicco.org>

内閣府認定公益社団法人、特定公益増進法人【寄付金控除】、国連特別協議資格団体

設立:1979年12月、代表者:理事長 小野 了代

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)は、京都に本部を置き、国際協力を行うNGOです。1979年の設立以来、途上国の人々の経済的・精神的な自立を図るため、アジア、中東、アフリカの世界21カ国で、①緊急災害支援、②環境保全に配慮した農村開発などの自立支援、③職業訓練、に取り組んできました。現在は、マラウイ、ケニア、シリア、ヨルダン、パレスチナ、イラン、アフガニスタン、ミャンマー、フィリピンに加え、国内では東日本大震災被災地と滋賀県にて活動を展開。

2008-2009年のガザ紛争の直後にも、現地NGOと協力して物資配布を行った経験があり、今回も同様の方法により、ガザ地区へ支援を届けた。

